

家庭教育と子育て支援について

(1) みえ家庭教育応援プランに基づいた取組展開

少子化の進行や共働き家庭の増加など家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、様々な家庭の実情に合わせて支援していく環境を作り、多様な主体が連携して取り組むため、平成28年度に「みえ家庭教育応援プラン」を策定しました。

このプランは概ね10年先を見据えた今後5年程度の期間に取り組んでいくものであり、基本理念や10の取組方策の他、複数の取組をとりまとめて注力する3つのテーマを「家庭教育応援プロジェクト」と位置付け設定し、横断的・総合的取組として展開しています。

(2) 「家庭教育応援プロジェクト」の取組

テーマ1 みんなで進めよう！子どもの基本的な生活習慣づくり

基本的な生活習慣の確立は、子どもたちの心身の健やかな成長、意欲の向上に不可欠であり、「生き抜いていく力」を育む基礎になります。このため、子どもの発達段階や保護者の関心の度合い、家庭の状況等に配慮した学習機会・情報の提供を通じて、各家庭における子どもの基本的な生活習慣づくりの取組が進むよう応援します。

<主な取組内容>

◎「生活習慣・読書習慣チェックシート」等の活用促進

「早ね早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣が身に付くよう県内の保育所や幼稚園において、3～5歳児を対象に家庭と連携した生活習慣チェックシートの活用を年3回実施しました。幼稚園等の便り等で保護者にフィードバックし、親子で見直す機会を創り出すといった取組の工夫も図りました。【子ども・家庭局、教育委員会】

小中学校においても、生活習慣・読書習慣チェックシートを配付し、年3回の集中取組期間を設けて児童生徒の生活習慣等の確立に向けた取組の促進を図りました。

【教育委員会】

	平成27年7月	平成28年7月	平成29年7月
保育所や幼稚園等のチェックシート実施状況	68.7%	83.7%	85.7%
チェックシート結果の保護者との情報共有	58.3%	89.2%	89.4%

* 保育所や幼稚園等の職員の感想

- ・家庭の生活習慣を見直すにあたり、目標を持つことができていると思う。
- ・園が家庭の様子も知ることができ、保護者に対し具体的な指導もできるようになった。
- ・楽しく取り組んでいる家庭と関心の低い家庭の差があるが、続けることで周知や定着がされてきたと思う。

* 保護者の感想

- ・チェックシートを活用することで意識しながら積極的に取り組めるようになった。
- ・兄妹と一緒に取り組むことで、自ら時間や約束を守るようになった。
- ・子どもががんばろうとするので、親も意識して手伝ったり援助ができた。

◎家庭や地域の気運づくりや家庭への「学び」の提供

三重県PTA連合会や三重県高等学校PTA連合会との共催による生活習慣の大切さを考える「みえ家庭教育応援フォーラム」の実施（約200名参加）や、企業や団体と連携した「子育て応援！わくわくフェスタ」の開催（約6,000人の来場者）を通して、家庭での生活習慣の確立に向けた気運づくりを進めました。【子ども・家庭局】

就学前後の子をもつ保護者を対象に、「食べる」「寝る」「遊ぶ」の大切さを知っていただくため「みえ家庭教育応援リーフレット」を作成し、市町やPTA、企業に啓発しました。【子ども・家庭局】

親同士が子育てについて話し合い、自らの役割や成長に気づき学ぶための学習コンテンツ「みえの親スマイルワーク」（妊娠期の家庭から小学生の子を持つ親を対象）を作成し、健診時や行事等での活用をすすめると共に、市町や三重県PTA連合会とも連携し、ファシリテーターの養成やワークシートの普及に努めました。【子ども・家庭局、教育委員会】

テーマ2 つくろう！家庭教育を応援する地域のネットワーク

地域で孤立しがちな家庭など、支えを必要としている多様な家庭に応じた取組を進めるため、市町と連携し、各地域それぞれの強みや特徴を生かした家庭教育応援のためのネットワークの構築を図るとともに、その横展開を図ります。

<主な取組内容>

◎家庭教育応援モデル事業によるネットワークづくりの推進

亀山市、名張市、玉城町において家庭教育応援モデル事業を実施し、既存の会議や組織の活用など地域資源を活かしながら、地域ボランティア、NPO団体等と連携すると共に、子どもの育ちを支えるネットワークづくりを進めています。【子ども・家庭局】

亀山市	不登校児童生徒の学習支援を行うNPOとの連携。 訪問活動につなげる保護者への支援。
名張市	家庭教育応援にかかる地域人材の育成。 地域モデルによる市内15地域への横展開。
玉城町	「保健・福祉・教育」が連携したネットワークづくり。 ブックスタート訪問や出前講座を通じた保護者との顔の見える関係づくり。

◎関係者の情報共有の場の設定や人材の養成など

新たに市町と家庭教育応援推進連携会議を設置し、研修会の開催やモデル事業の報告、行政とNPOの連携の事例発表など、情報の提供や共有を図りました。【子ども・家庭局、教育委員会】

子育て・子育てマイスター養成講座を2市町、孫育て講座を4市町で実施し、地域性や実態に応じた人材の養成を図りました。また、受講者を対象に、地域で継続した取組になるよう、地域単位でフォローアップ研修会及び情報交換会も行います。【子ども・家庭局】

テーマ3 応援しよう！企業と連携した家庭の教育力アップ

企業は、その従業員や業務を通じて家庭とのつながりがあり、連携して家庭教育の応援に取り組むことには、大きな意義があります。このため、企業の理解を十分に得て、社会意識の变革や、気運づくり、家庭教育応援の取組などに参画いただくよう働きかけます。

<主な取組内容>

◎イクボスや男性の育児参画の推進

すべての家族に優しい三重県の実現に向け「みえのイクボス同盟」に賛同する企業への働きかけを進めており、市町や企業と連携した「イクボス養成講座」（年5回、参加企業団体89団体、H29.12末現在）の実施など、各講座において多数の企業・団体の参加がありました。

また、第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ（H29年度 431件の応募）を開催し、育児に取り組む男性やイクボスの優良事例を表彰し発信するとともに、男性の学びの場として地域や職場における「男性の子育て応援講座」を開催（年10回）しました。

なお、こうした取組が評価されNPO法人ファザーリング・ジャパンが平成29年6月に実施したイクボス充実度アンケート調査において三重県が都道府県部門で第1位に選ばれています。【子ども・家庭局】

	平成28年4月	平成29年12月末
イクボス同盟加盟企業団体数	76	147

【総務省 社会生活基本調査】	平成23年		平成28年	
6歳未満の子どもがいる世帯の夫の育児時間	全国	39分	全国	49分
	三重県	35分	三重県	53分

*全国10位、伸び幅は全国7位

◎ワーク・ライフ・バランスや企業との連携など

誰もが働きやすい職場環境づくりに向け、働き方改革セミナー（H29.9.14、160名参加）や働き方改革フォーラム（H29.12.12、53名参加）の開催、「みえの働き方改革推進企業」の登録・表彰を実施（48社登録、6社表彰）しました。【雇用経済部】

みえ次世代育成応援ネットワーク（企業899社、子育て団体等652団体、合計1,551、H30.1現在）において、多くの企業や団体と連携し「子育て応援！わくわくフェスタ」の開催など子どもの豊かな育ちを応援する取組を進めています。【子ども・家庭局】

(3) 各テーマのまとめと方向性

① テーマ1 みんなで進めよう！子どもの基本的な生活習慣づくり

小中学校での取組だけでなく、就学前の早い段階から生活習慣の定着が進むよう、多くの保育所や幼稚園等で生活習慣チェックシートの活用が図られ、各家庭へのフィードバックも進められました。

今後さらに、多くの家庭で取組まれるよう、様々な機会を通じて家庭教育の必要性を保護者へ届けることや、妊娠期から切れ目のない家庭教育応援の取組を進めることが必要と考えます。

② テーマ2 つくろう！家庭教育を応援する地域のネットワーク

モデル事業を通じて、地域の実情や特性を生かした地域のネットワークづくりが様々なパターンでできつつあり、こうした事例を市町との担当者会議等を通じて、情報交換ができました。

一方で、支援の必要な家庭に家庭教育の応援の取組が届けられるよう、さらに各モデルの取組を深化させて広めていく必要があります。

③ テーマ3 応援しよう！企業と連携した家庭の教育力アップ

今年度、イクボス充実度アンケート調査において三重県が都道府県部門で第1位に選ばれ、夫の育児時間も大幅に増加しているなどから、ワーク・ライフ・バランスや男性の育児参画の取組はある程度進んでいると考えられます。

一方、イクボスの取組は、まだ一部の企業に限られていることや家事・育児に要する時間は夫婦により大きな差があることから、引き続き企業と連携し啓発や具体的な取組を進めていく必要があります。